

2019（平成31）年度 事業報告

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

中野区障害者福祉会館

東京都手をつなぐ育成会 統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

中野区障害者福祉会館サブミッション

「さまざまなニーズに対応できるよう、関係機関と連携をとり、利用者・近隣住民に信頼される施設を目指す。」

1. 全体状況

第3期指定管理者応募の際に提案した「会館全体の避難訓練」と「日中活動支援終了後の居場所作り」を実施し、中野区とも多くの検討課題を共有することができた。11月から実施された会館全体のトイレ改修工事については、事前に利用団体、事業利用者とその家族に情報提供を行い、混乱なく2月末に終了した。

自立訓練（機能訓練）事業においては、年度初めより非常勤専門職を揃えることができ、利用者が希望する訓練をサービスの質を落とすことなく提供できた。また、トイレ改修工事の影響により、例年、会館内で実施していたラップアップパーティーを、レストランにて利用者主体の実施ができた。

生活介護事業においては、心身障害児総合医療療育センターのドクターに来館頂き、医療的ケアの利用者支援を中心に、家族、看護師、支援員の相談を受けて頂く機会を設けた。また、各活動室の整理整頓を行い、医療的ケアの利用者が安心して過ごせる部屋を新たに設けた。

2月中旬以降、コロナウィルス感染予防として、出勤後の検温と手洗いを徹底し、利用者には、検温の記録など体調管理をお願いした。

2. 本年度重点目標に対する結果

(1) 会館運営

① 会館利用者全体の避難方法の見直し

会館利用の障害者団体（3名）、中野区障害者施設係（2名）と会館職員（6名）が参加し、地下の避難経路確認と車いす用階段昇降機の実地体験を行い、外部避難階段の手すり及び照明を設置した。車いす用階段昇降機については、中野区がライオンズクラブから寄付として寄贈され、障害者福社会館に設置することが決定した。

② 居場所の提供

日中活動終了後の居場所として、会館2階多目的室を開放し、ヘルパーと一緒に過ごせる場所としてフリースペース事業を開始した。8月から障害者福社会館生活介護事業の利用者を対象とし、事業を開始した。10月のかみさぎこぶし園家族会にて事業説明を行い、かみさぎこぶし園利用者の登録を開始し、現在、合わせて7名が登録している。

(2) 自立訓練（機能訓練）事業

① 利用者の個別支援を高める

生活に課題のある方を中心にケース検討を実施した。自立訓練職員だけでなく地域活動支援センターの職員とも支援方法を統一させ、訓練を提供した。

② 利用率向上を目指した取り組み

主に医療機関を中心にパンフレットの送付や事業説明等、医療ソーシャルワーカーと連携した。今年度利用開始10件と昨年度より6件増加した。

③ ネットワーク体制の確立

相談の全体数が少なかったこともありネットワーク体制の確立には至らなかったが、日常的に地区担当ケースワーカーと連絡を取り合った結果、標準利用期間を超えてのサービス利用につなげることができた。必要な方が必要なサービスを受けられる結果となった。

(3) 生活介護事業

① 改修工事に伴うレイアウトの工夫

トイレ改修工事の開始に伴い、限りあるスペースを工夫しながら有効活用したことで、利用者の大きな混乱はなく日常生活を送ることができた。

② 医療的な支援体制の向上

医療的ケア指導医の検診回数を年間3回に増やし、医療面での体制強化に努めた。医療的ケアに関する事柄だけでなく、医療面に関して

幅広く助言を頂き、支援に役立てることができた。

③ 新たな活動の取り組み

利用者が好きなレクリエーション活動（ボッチャやボーリング）を、会館ルールに工夫する事で、皆が参加でき一層楽しめる行事となった。

地域行事に利用者と参加し、地域との交流を図った。また、会館まつりでは、活動の様子を貼り出し事業の取り組みを地域に向けて発信した。

(4) 特定相談支援事業

生活介護利用者の充実した地域生活に向けて、新規計画0件、更新13件、モニタリング13件のサービス等利用計画を作成した。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

障害者の日常生活及び社会生活を支援し、共生社会の実現に向けて、区内の障害者が地域住民との連携の中で、交流と相互理解を深めることによって、障害者の福祉向上を図ることを目的とする。

(2) 名称及び所在地等

名称	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 中野区障害者福祉会館
事業所番号	自立訓練（機能訓練） 1 3 1 1 4 0 0 9 0 5 生活介護 1 3 1 1 4 0 0 8 9 7 特定相談 1 3 3 1 4 0 1 5 4 5
所在地	東京都中野区沼袋2丁目40番18号
電話	03 - 3389 - 2171
ファックス	03 - 3389 - 2175
電子メール	na_shoukan@ikuseikai-tyk.or.jp

(3) 設立

設立年月日	昭和54年10月1日
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
事業所種別	障害福祉サービス（生活介護事業） 障害福祉サービス（自立訓練（機能訓練）） 障害福祉サービス（特定相談）

(4) 施設の規模

敷地面積	2, 035. 425 m ²
延床面積	障害者福祉会館 2, 650. 790 m ² 沼袋区民活動センター 1, 135. 770 m ² 防災備蓄倉庫 188. 010 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階建て

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 会館運営

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務）	2名
	事務主任（兼務）	1名		管理員	4名
	事務（兼務）	1名			
合 計		3名	合 計		5名
合 計		8名			

イ. 自立訓練（機能訓練）・地域活動支援センター

※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務）	2名
	事務主任（兼務）	1名		支援員	1名
	事務（兼務）	1名		看護師	1名
	主任支援員	1名		理学療法士	1名
	支援員	4名		作業療法士	2名
	理学療法士	1名		言語聴覚士	1名
	作業療法士	1名		嘱託医（整形外科）	1名
	看護師	1名		嘱託医（内科）	1名
合 計		11名	合 計		10名
合 計		21名			

ウ. 生活介護 ※管理者（施設長）サービス管理責任者（主任支援員）

常 勤	施設長（兼務）	1名	非 常 勤	事務（兼務）	2名
	事務主任（兼務）	1名		生活支援員	5名
	事務（兼務）	1名		看護師	1名
	主任支援員	1名		理学療法士	2名
	支援員	8名		作業療法士	1名
	看護師	2名		嘱託医（整形外科）	1名
				嘱託医（内科）	1名
				嘱託医（精神科）	1名
		嘱託医（歯科）	1名		
合 計		14名	合 計		15名
合 計		29名			

(6) 利用者状況

① 自立訓練（機能訓練）事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用することが可能な方で、年齢は契約時満65歳未満とする。但し言語訓練は除く。

介護保険制度および医療機関における同種サービスの併用は不可。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	10名	20名
13:00～15:30	10名	

ウ. 性別・年齢構成（2019平成31年度内）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
男性	0名	0名	0名	2名	6名	3名	3名	14名
女性	0名	1名	1名	0名	3名	0名	0名	5名
合計	0名	1名	1名	2名	9名	3名	3名	19名

エ. 障害程度（2019平成31年度内）

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	7名	6名	0名	0名	0名	0名	12名
2種	0名	0名	0名	0名	5名	0名	6名
合計	7名	6名	0名	0名	5名	0名	18名

※療育手帳のみ 4度（1名） 合計 19名

オ. 利用者の利用前の状況（2019平成31年度内）

状況	在宅	入院	通院	他機関	その他	合計
人数	11名	3名	1名	2名	2名	19名

② 地域生活支援事業（地域活動支援センター）

ア. 利用対象者

中野区内に住所を有する満65歳未満の身体障害者、または高次脳機能障害の診断を受けた方（難病についても応相談）であり、常時医学的な介護を必要とせず、通所により事業を利用できる方。

イ. 利用時間・定員

利用時間	定員	合計
9:30～12:00	7名	15名
13:00～15:30	8名	

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～65歳	合計
男性	0名	0名	0名	4名	8名	5名	17名
女性	0名	0名	1名	1名	3名	1名	6名
合計	0名	0名	1名	5名	11名	6名	23名

エ. 障害程度

身障手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
1種	13名	4名	1名	0名	0名	0名	18名
2種	0名	2名	0名	3名	0名	0名	5名
合計	13名	6名	1名	3名	0名	0名	23名

③ 生活介護事業

ア. 利用対象者

障害者総合支援法に基づくサービス支給決定を受けている方。
障害支援区分3以上（50歳以上は区分2以上）の方。

イ. 定員

32名（現員25名）

ウ. 性別・年齢構成

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
男性	2名	5名	1名	2名	3名	13名
女性	2名	4名	1名	5名	0名	12名
合計	4名	9名	2名	7名	3名	25名

*平均 男性 36.6歳 女性 33歳 全体 35.1歳

エ. 障害程度

身障手帳 愛の手帳	無し	1級	2級	3級	4級	5級	合計
1度	1名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
2度	12名	1名	1名	0名	0名	0名	14名
無し	0名	9名	0名	0名	0名	0名	9名
合計	13名	11名	1名	0名	0名	0名	25名

オ. 障害支援区分

障害支援区分	1・2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	5名	7名	13名	25名

カ. 利用者の利用前の状況

状況	在宅	特別支援 卒業	区立卒業	他通所 施設	入所施設	合計
人数	1名	21名	1名	2名	0名	25名

キ. 保護者状況

状況	両親	父親	母親	兄弟 姉妹	叔父 叔母	従兄 弟	後見 人	その 他	合計
男性	10名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	1名	14名
女性	8名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	19名	0名	6名	0名	0名	0名	0名	2名	25名

4. 事業実績

(1) 会館運営

① 送迎バスの運行管理

ア. 運行台数

マイクロバス（リフト付き）4台

ワゴン車（リフト付き）4台

イ. 運行時間

午前7時25分～午後6時00分

ウ. コース

区内8コース

エ. 利用状況

	運行回数	利用人数
赤バス	575回	4,588名
紫バス	661回	5,843名
青バス	675回	6,368名
緑バス	681回	6,051名
れもんバス	604回	978名
りんごバス	660回	1,712名
いちごバス	480回	948名
すいかバス	639回	1,061名
合計	4,975回	27,549名

② 施設提供

ア. 個人利用

a. 利用時間 午前 9 時から午後 10 時

b. 利用状況

施設	利用人数
福祉図書室	0 名

イ. グループ利用

a. 利用時間

利用時間					
1	9:00～12:00	2	13:00～17:00	3	18:00～22:00

b. 利用状況

障害者

施設	件数	人数
多目的室	35 件	216 名
調理室	67 件	968 名
音楽室	80 件	1,179 名
スポーツ訓練室	224 件	2,495 名
合計	406 件	4,858 名

一般

施設	件数	人数
調理室	70 件	1,759 名
音楽室	97 件	1,428 名
スポーツ訓練室	11 件	157 名
合計	178 件	3,344 名

③ タクシー券交付

区役所で一括交付のため、業務中止。

(2) 自立訓練事業（機能訓練）事業

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	12	12	13	12	10	10	13	12	13	14	14	13	148
新規	1	0	2	0	0	0	3	1	1	1	1	0	10
終了	0	1	1	2	0	0	2	0	0	1	1	1	9

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

P T：理学療法 O T：作業療法 S T：言語聴覚療法

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
P T	63	69	73	80	59	70	77	77	82	83	76	83	892
O T	82	83	89	98	77	75	90	87	89	87	86	87	1030
S T	32	35	38	35	22	16	33	37	43	45	37	45	418

④ 日課・週間プログラム

(午前の部)

9:30	会館到着（午前の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

(午後の部)

12:45	会館到着（午後の部） バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	障害の状況や社会環境に合わせて、機能訓練、日常生活動作訓練、言語訓練、就労状況に合わせた訓練を個別グループで実施。
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

(3) 地域活動支援センター

① 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	22	22	23	24	24	24	24	24	24	23	23	23	280
新規	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
終了	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

② 通所方法

自主通所及び送迎バスを利用。

③ 利用状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延数	132	133	160	145	149	129	159	160	145	139	136	114	1,701

④ 日課・週間プログラム

（午前の部）

9:30	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
10:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
11:30	帰宅準備
12:00	帰宅

（午後の部）

12:45	会館到着・バイタルチェック（血圧・脈拍・体温等）
13:00	準備体操・活動開始（それぞれのグループに特色あり） 体操・創作・外出・調理・自主トレーニング等
15:15	帰宅準備
15:30	帰宅

⑤ 活動グループ

グループ名	人数	活動内容
ヘルシーライフ	6名	調理、食の関心、陶芸、園芸、外出等
影絵工房	5名	影絵作成、外出、近隣保育園・生活介護利用者に向けた公演会
いきレク	2名	レクリエーション、調理、外出
フィットネス	6名	DVD体操、個別体操、レクリエーション
おしゃべり工房	4名	絵画制作（障害者総合美術展に出展）等
ミュージック	7名	ピアノ、アコーディオン演奏に合わせた合唱 ミニコンサートの開催等
SHIP	4名	自立訓練終了後の高次脳機能障害者対象、創作活動、外出・イベント企画等
自主トレーニング	火3名 金6名	理学療法士と相談して立てたプログラムに沿った自主的な運動等

（４）その他

① 入浴事業

ア．利用対象者

区内に在住する障害者で、一般の浴槽での入浴が難しい方に対して清潔を保つことを目的に入浴の機会を提供する。

イ. 定員

a. 機械入浴 1人週1回、1日最大4名まで利用可。

b. 介助入浴 1人週2回、家族、ボランティア等の付添で利用可。

※介助の状況により1日に10名程度利用可。

ウ. 性別・年齢構成・障害程度

a. 機械入浴（現員1名）			b. 介助入浴（現員1名）		
性別	年齢構成	障害程度	性別	年齢構成	障害程度
男性	50～59歳	1種1級	女性	80歳以上	1種1級

エ. 利用状況

a. 機械入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	5	51

b. 介助入浴

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	8	7	7	8	9	8	7	9	7	5	3	7	85

② 講座・講習会

ア. 利用対象者（中野区内在住、在勤の方）

イ. 定員（講座・講習会により変動あり）

ウ. 利用状況

a. 講座（定例・入門）

障害者の自立や社会参加、趣味の拡大等の為に開催

講座名	曜日	実施回数	利用人数
料理講座（視覚障害）	第1火曜	全4回	40名
編み物講座	第1・3月曜	全10回	45名
座位エクササイズ講座	第2火曜	全10回	100名
書道講座	第2・4水曜	全17回	126名
レク体操講座	第1金曜	全8回	28名
入門講座（栄養）	7月	全1回	12名
入門講座（ダイエット）	8月	全1回	15名
入門講座（そば打ち）	9月	全1回	14名
入門講座（コーヒー）	11月	全1回	13名

※3月開催予定であった7回分は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止した。

b. 講習会

点字ボランティア育成の為、初級・中級講習（各10回）を開催。

点字講習	前期後期	全20回	利用人数	49名
------	------	------	------	-----

(5) 生活介護事業

① 車椅子利用者 13名

② 入退所状況（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	27	27	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	308
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

③ 保護者状況（名）

状況	両親	父親	母親	兄弟姉妹	叔父叔母	従兄弟	後見人	その他	合計
男性	10名	0名	3名	0名	0名	0名	0名	1名	14名
女性	8名	0名	2名	0名	0名	0名	0名	1名	11名
合計	18名	0名	5名	0名	0名	0名	0名	2名	25名

④ 利用率（%）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
77.5	75.8	71.5	73.9	73.2	78.9	77.1	77.6	78	78.5	76	65.1	75.2

⑤ 日課・週間プログラム

	月	火	水	木	金
9:30	送迎バスまたは家族送迎にて通所				
9:50	更衣・水分補給・体調確認・その他				
10:00	ミーティング				
	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動	目的別グループ活動
12:00	昼食・歯磨き・自由時間				
13:30	テーマ別活動	テーマ別活動	テーマ別活動	目的別グループ活動	テーマ別活動
14:45	更衣・水分補給・ミーティング				
15:30	送迎バスまたは家族送迎にて帰宅				

⑥ 目的別グループ

グループ	人数	活動内容	
		目的	活動内容
サンサン	14名	健康や体力の維持増進・気分転換を目的としたウォーキング、館内歩行、ストレッチ等。集中力や日中のメリハリを目的とした作業活動。	散歩・作業（クッキー作り、缶回収・つぶし・仕分け並べ、新聞回収、ビーズ作り、紙すき等）・軽運動・足浴・調理・音楽・買い物・お茶会等
ポレポレ	13名	身体機能の維持・発達を目的としたストレッチや感覚活動。集団と個別を意識した創作やレク活動。	理学療法士・作業療法士によるストレッチ・買い物・散歩・音楽・軽運動・足浴・本読み・創作・お弁当購入（ランチ）・こよみ作り等

⑦ テーマ別活動

	活動	内容
月	こよみ・音楽	こよみはステンシルや折り紙を折って、四季を表現したり、童話をモチーフに作成した。音楽は各グループや全体で行った。
火	室内活動等	各グループで足浴・手浴、DVD鑑賞、お菓子作り、お茶会等をして過ごした。
水	缶作業・ビーズ・レク・創作等	地域で回収した缶を洗う・並べる・仕分ける・潰す等の工程に分けて取り組んだ。ビーズはサンサングループの取り組みとして行った。レクでは主にポレポレグループが、ボーリング・野球ゲーム・オセロ・ジェンガ等をして楽しんだ。創作は季節感の感じる作品制作を行った。
木	クッキー（隔月）	レイアウトの変更に伴い、①材料の運び、②仕込み、③焼き、の3工程に分けて実施した。
金	缶作業・ビーズ・軽運動等	軽運動として、サンサングループでは回廊歩行や階段の上り下り、腹筋・背筋、マッサージを行い、ポレポレグループは個々に応じたストレッチ・トレーニングを行った。

⑧ その他の活動・サービス（全グループ共通）

ア．利用者の自治会活動（ひまわり会）

ひまわり会の話合いは年間4回、全体で行った。8月のサマーパーティーと年度末の納め会を利用者が主となって企画し、進行の役割を担当した。会費で行事の昼食やデザートを購入した。

行事開催時の開会・閉会の挨拶は利用者代表が行った。

イ．調理実習

今年度は、各グループでの調理実習の他、男性陣、女性陣に分かれ調理実習を行った。サンシングループはハンバーグ、ポレポレグループはチョコレートムースを作っている。その他、2月はバレンタインデー企画、3月はホワイトデー企画のお菓子作り実施した。仕上がったお菓子は華やかにラッピングし、各ご家庭へお土産として持ち帰っている。

ウ．理学療法・作業療法

理学療法士、作業療法士に相談し、利用者のニーズに合わせたストレッチ・訓練や自助具・座位保持等の補装具を製作した。また、車椅子の状態を確認し、家族へ使用時の様子を伝えた。

エ．プール活動

年7回鷺宮体育館のプールを利用してプール活動を行った。また、心身障害児総合医療療育センタープールの利用を4回実施した。

（2月、3月は感染症対策の為、鷺宮体育館のプールを3回中止している。）

欠席者が当日出た場合、他の希望者が参加できるよう工夫し、多くの方への機会をつくった。

オ．音楽活動

定期的に武蔵野音大の学生ボランティア・音楽療法講師・ライヤー演奏者を迎えて、全体で音楽活動を行った。ライヤー活動では演奏者からの要望もあり、全体と個別の時間を取り入れた。練馬区役所で行っているアトリウムコンサートへも散歩を兼ねて参加した。また、普段の活動においても、職員が内容を考えて音楽の時間を提供した。利用者の方々が好まれる曲を選曲し、職員がキーボードやギター等で伴奏を行った他、ボランティア活動をしているサックス奏者の方を招き、演奏してもらった。

カ．パーソナル外出

今年度は、目で見て楽しむ「見学」と、体を動かして楽しむ「運動」という所に重点を置き、利用者が楽しめる行先を設定し本人が選び

決めた。今年度は、「運動」のニーズが高く、保護者からも初めてのボーリングを体験し、良い社会経験ができたとの意見が挙がっている。

キ. クラブ活動

今年度のクラブ活動は、創作活動をメインに行った。活動時はグループに分かれ、その時々テーマに沿った作品を作った。8月のサマーパーティーでは、今回のテーマは「夏フェス」をイメージし、夏の歌を中心にボランティア団体に歌っていただいた。10月はお祭りに向けて館内の装飾品作り、3月はアルモニー展示に向けて、皆で書いた書初めを展示した。

⑨ 全体行事

実施日	行事名	実施場所	参加人数	
			利用者	ボラ
6.10	ぬまりんピック	中野区障害者福祉会館	20名	0名
8.2	サマーパーティー	中野区障害者福祉会館	20名	0名
9.5～6	宿泊旅行	山梨方面	7名	1名
9.19～20	宿泊旅行	群馬方面	13名	1名
10.19	会館まつり	中野区障害者福祉会館	22名	54名
12.26	忘年会	中野区障害者福祉会館	15名	0名
3.30	納め会	中野区障害者福祉会館	22名	0名

⑩ 個別外出

実施日	実施場所	参加人数
7.5	東京タワー	3名
7.11	池袋ラウンドワン	2名
7.25	東京タワー	2名
7.26	池袋ランドワン	2名
12.9	東京タワー	3名
12.17	池袋ラウンドワン	1名
1.16	東京タワー	2名
1.17	池袋ラウンドワン	2名
1.23	池袋ラウンドワン	2名

⑪ お楽しみデー

グループ	実施場所	回数
ポレポレ	シャローム南風、板橋イオンモール	2回
サンサン	シャローム南風、板橋イオンモール	2回

⑫ 家族との連携

家族連絡会	10回	会館まつり	1回
家族懇談会（感染症予防対策の為中止）	0回	個別面談（年度末面談は感染症予防対策の為延期）	0回
ぬまりんピック	1回	給食試食会	1回

⑬ タイムケア

17時まで（114回）	151回
18時まで（37回）	

（6）特定相談支援事業

① 利用対象者

会館生活介護利用者

② 相談窓口の時間、開所日

毎週水曜日 15：30～17：00

③ 利用者数

ア．平成31年度新規計画作成 0件

イ．更新 13件

ウ．モニタリング 13件

5. 権利擁護

（1）事業所としての取組み、方針

会館運営、自立訓練事業、生活介護事業から担当職員を2名ずつ選出し、権利擁護について取り組んだ。今年度については、特に障害者虐待防止について議論を深めた。

また、ボランティアや実習生、近隣住民との交流を持ち、常に外部の目を入れることで、職員の意識改革を図った。

（2）虐待防止委員会

① 委員会・会議等

7月25日	障害者虐待防止法リーフレット読み合わせ	17名
-------	---------------------	-----

② 外部研修

7月20日	障害福祉情勢と現場に求められる支援	1名
11月30日	障害者への理解促進と差別解消の推進	2名

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

4月1日	チェックリスト分析・フィードバック（自立）	14名
7月25日	障害者虐待リーフレットの読み合わせ	13名
3月26日	チェックリスト分析・グループワーク（自立）	8名
9月30日	チェックリスト分析・フィードバック（生活）	14名
3月30日	チェックリスト分析（年間まとめ）（生活）	13名

（3）苦情解決第三者委員

契約時における苦情解決担当者、苦情解決責任者の説明に加え、法人窓口、区担当・オンブズマン、第三者委員等を紹介し、事業の適正化や信頼性の確保を図る取り組みを行った。第三者委員との連携を強化し、運営協議会への参加及び活動を見学する機会をつくった。

また、利用者の意見が施設の運営に反映され、より良い事業運営に繋がるよう関係団体・家族会役員等に委員を委託し運営協議会を開催した。

運営協議会	1回
-------	----

（4）個人情報保護

中野区個人情報保護条例及び中野区情報公開制度に基づき、区により定められた取り扱うことのできる個人情報の範囲、取扱い方法について課せられた制限及び義務を遵守した。

① 施設で扱う個人情報の範囲と管理について

ア．施設で扱う個人情報は、利用者支援上、特に必要な情報のみに限定し、職員の責任と権限を明確に定め、管理を徹底した。

イ．個人ファイルについては、全て事務所内の施錠できる保管庫に管理し、職員による緊急時の個人情報の持ち出しは、管理者を通して行った。

ウ．システムによる管理を徹底し電子媒体の個人保有を禁止した。

② 情報提供について

緊急対応時を除き、他の指定事業者やその他第三者に対し、利用者または、その家族に関する情報を提供する場合は、あらかじめ文書により利用者または家族から同意を得るようにした。

③ 職員教育

個人情報の取り扱いに対して全職員に説明し管理を徹底した。

（5）障害者差別解消法

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」を活用し、障害特性に応じて事業毎に支援方法を確認した。

また、合理的配慮については外出訓練の振り返り時に、外出先での

社会の障壁について、利用者と話し合った。

6. 医務

(1) 健康管理

① 自立訓練（機能訓練）事業

年24回、自立訓練及び地域活動支援センターの利用者を対象に嘱託医による診察を実施した。利用者の健康状態を把握し、家族・主治医・関連医療者との連携を図り健康で安全な生活が送れるように支援した。

ア. 利用者が安全に通所できるように、施設内の衛生管理、環境整備を行い、感染症を予防した。

イ. 利用者が日常において健康で安全な生活が送れるように、毎日の健康チェックを実施し体調を把握した。

また、利用者が自らの健康状態に関心を持ち、管理ができるように支援、助言した。

ウ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

エ. 定期健診を実施していない利用者に対して、区健康診断の受診を勧めた。

② 生活介護事業

年1回、全利用者を対象として定期健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家族・主治医等と連携を図り健康で安全な生活が送れるよう支援した。今年度は、医療的ケア対象利用者を主とした医ケア相談の機会を3回作り、医療面での体制強化に努めた。

ア. 利用者、家族より健康情報を得て健康管理を行った。

イ. 月1回、体重血圧測定及び必要に応じてバイタルチェックをすることで、疾病等の早期発見に努めた。

ウ. 各検診を実施し、必要と思われる医療情報等を各家庭へ提供することで健康や疾病に対する注意を喚起した。

エ. 利用者が会館内で衛生的な生活が送れるように環境を整えた。

オ. 利用者の体調を観察・把握し、社会の感染情報も得ながら、施設内の衛生管理を行った。

カ. 職員の健康管理を行った。年1回健康診断を受け、自らの健康状態を把握し、必要に応じて嘱託医の助言を受けながら健康維持に取り組んだ。

(2) 実施体制

関係医療機関・嘱託医

医療機関名	主な診療科目
西武沼袋医院	内科・外科・泌尿器科・皮膚科
石坂整形外科	整形外科・リハビリ科
銀河クリニック	精神科
神戸歯科医院	歯科
心身障害児総合医療療育センター	医療的ケア

(3) 嘱託医健診等

① 自立訓練（機能訓練）事業

内科健診	24回	体重測定	毎月
整形外科健診	24回	健康チェック	毎日
精神科相談	適宜		

② 生活介護事業

内科健診	2回	体重測定	12回
整形外科健診	2回	健康チェック	毎日
精神科健診	4回	定期健康診断	1回
歯科検診	2回	医療的ケア相談	3回

(4) 感染症予防・対応

- ① 新任職員入職時や感染症流行前に医務が中心となって、感染予防・対応（吐物処理等）の施設内研修を行い、職員の意識を高めた。
- ② 感染症マニュアルを基に、予防・対応に取り組んだ。
- ③ 週1回、利用者帰宅後に活動室内の物品・トイレ・洗面等の消毒を行い衛生管理に取り組んだ。

また、トイレや活動室、食堂の洗面所には手指用消毒液を設置し、こまめに手洗いと消毒を行い、感染症を予防した。

インフルエンザ流行時には、特に環境面に配慮し、また利用者家族に注意・喚起を行い、感染を最小限に防いだ。

- ④ 新型コロナウイルス感染防止として、次亜塩素酸水精製機のレンタルと医療的ケア対象利用者の活動室にて次亜塩素酸水の噴霧を導入した。

(5) 理学療法士・作業療法士との連携

利用者の必要に応じて理学療法士・作業療法士と連携を図り、筋力の維持、拘縮予防等について対応し、運動機能の改善、維持を行った。

また、必要に応じ研修やケース検討会等を企画し、支援員・看護師は介護技術の助言を受け、支援に反映させた。

7. 給食・調理

利用者の障害特性を考慮し、可能な範囲内で柔軟に対応した。食形態については普通食以外に、嚥下機能等に配慮をした軟菜食、ソフト食、ペースト食の区分を設け、その区分から個別に対応した。

(1) 給食会議

毎月、第2火曜日に定例会議を開催し、検食簿を基にメニューの振り返りと確認、翌月の予定調整やイベント食、セレクトメニューの提案や企画をした。また、利用者個々の体調や適した食形態を確認し、その方に合わせて変更した。

(2) 衛生管理（食中毒予防）

委託業者は、業者の衛生管理マニュアル（作業管理規定、作業標準書）に沿って作業環境や作業員・作業場の衛生管理に取り組み、調理作業を行った。

(3) 委託業者

給食提供業者

会社名：株式会社CTMサプライ

所在地：東京都新宿区三栄町25番地 堀木ビル2階

電話：03-6457-8282

FAX：03-6457-8283

8. 危機管理体制

(1) 事故防止・報告・改善と感染症の予防対策

職員会議・ミーティングで定期的に「ヒヤリハット・インシデント」報告を行い、職員間で危機管理意識を持った。感染症に対しては、流行前に施設内研修にて知識を身に付け、また家族連絡会において、区内状況を報告する等、発生を最小限に留めるようにした。

(2) 緊急連絡網の整備

施設や家族と様々な状況を想定した緊急連絡網を整備し、連絡体制を確保するため、災害時優先回線を開設し緊急時に備えた。

また、中野区障害者福祉会館を災害時の二次避難場所であることを利用者・家族へ周知した。

(3) 保険の加入

施設として施設賠償保険に加入するとともに、行事保険やボランティア保険にも加入した。

(4) 特定個人情報管理（マイナンバー関連書類・データ等）

特定個人情報は、法人「特定個人情報取扱規程」に則り、管理区

域、取扱区域を設け、取扱責任者、取扱担当者のみが取り扱い、決められた目的のみに使用した。職員等からの番号収集は、規程に則り、適切な方法で行った。

職 名	氏 名
管理責任者(法人)	事務局長
取扱責任者	施設長
取扱担当者	事務主任(10月まで)
取扱担当者	事務員(10月から)

9. 防災訓練関係

(1) 自衛消防体制

障害者福祉会館館長を隊長として、館内にある区民活動センターと協同で自衛消防組織を編成し、訓練を実施しながら有事に備えた。

(2) 防災訓練

① 自立訓練(機能訓練)事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練(合同)	1回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

② 生活介護事業 隔月に防災訓練実施

総合避難訓練(合同)	1回	避難訓練	4回
------------	----	------	----

(3) 大規模地震・災害対応

消防署の立会いのもと6月に火災を想定した全館(1階区民活動センター含む)総合避難訓練を実施した。当初3月に予定していた訓練については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止とした。

また、災害対応として、会館事業外車いす利用者の地階からの避難訓練を実施した。

10. 家族(保護者)との連携

(1) 生活介護事業

日々の連絡帳を通して、家庭での様子、施設からの連絡や利用者の活動時の様子、健康面の特記事項等、情報交換を行い連携した。

- ① 毎月「月予定」を作成し、月の活動や行事の日程を伝えるとともに、前月分の活動の様子を写真で家族に報告した。
- ② 年4回生活介護広報誌「ひまわりだより」を作成し、行事の様子を報告した。
- ③ 年9回、毎月第3金曜日は家族連絡会を開催し、施設からの連絡・行事や活動報告、家族との意見交換の場とした。
- ④ 中間時は個別支援計画書の作成・見直し・報告の面談を行い、利用

者・家族の意向を踏まえた計画書を作成した。

- ⑤ 年度末に実施予定だった保護者懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
- ⑥ 年1回実施している「大レクリエーション大会」を見直し、「ぬまりんピック」と名前を変え、会場を利用者が慣れている館内に変更し実施した。

1 1. 地域との連携

(1) 地域交流

年1回、地域まつりのひとつとして会館まつりを開催し、地域と連携し、事業を理解して頂くための機会とした。

- ① 活動を通して近隣や障害者団体、学校や保育園等と交流を行った。
- ② 実習生や行事・日中活動時のボランティア受け入れを行った。
- ③ アルモニーを有効活用して、様々な方との交流の場とした。
- ④ 地域行事「打ち水会」に利用者と参加し、地域との交流を図った。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

- ① 障害者相談支援事業所との情報交換と連携を強化した。
- ② 自立支援協議会の各部会へ参加した。
 - ア. 施設系事業者連絡会
 - イ. 相談支援部会
 - ウ. 自立支援協議会全大会
- ③ 中野区高次脳機能障害支援者連絡会へ参加した。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

- ① 自立訓練
 - ア. 実習・体験・見学等

介護等体験	1名	短大インターンシップ	2名
-------	----	------------	----

イ. ボランティア

日常（作業・活動・企画等）	94名
---------------	-----

- ② 生活介護

ア. 実習

特別支援学校	2回
--------	----

イ. 体験・研修

大学生体験	4名	中学生体験	0名
専門学校実習	3名	法務省研修	0名

ウ. ボランティア

行事（会館まつり・外出・宿泊旅行・プール等）	63名
------------------------	-----

12. 会議・委員会

（1）法人関係

施設長会議	11回	主任係長会	9回
事務連絡会	1回	看護師連絡会	3回
どりーむ通信	13回		

（2）施設関係

運営会議	1回	医務会議	11回
運営協議会	1回	会館まつり全体会議	8回
虐待防止委員会	1回	会館まつり担当者会議	4回
人事考課調整会議	2回	防災担当者会議	2回
給食会議	12回	全体職員会議	3回
バス運行会議	1回		

（3）区関係

自立支援協議会 全大会	5回	入所情報連絡会	1回
相談支援部会	10回	施設系事業者連絡会	6回
差別解消部会	3回		

（4）サービス事業別会議

① 自立訓練（機能訓練）

職員会議	21回	個別支援計画会議	12回
支援員会議	10回		

② 生活介護

職員会議	12回	個別支援計画全体会議	11回
目的別会議	24回	家族連絡会	9回
リーダー会議	12回	給食会議	12回

13. 研修計画・大会参加

（1）会館運営（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

5月25日	障害者スポーツ大会	1名
7月11日	東京都育成会大会	1名
7月19日	初任者事務研修「補正予算・次期予算」第一回	1名

10月23日	初任者事務研修「補正予算・次期予算」第二回	1名
11月23日	全国大会（熊本大会）	1名
12月9日	新任集中研修（1回目）「法人を知ろう」	1名
12月17日	新任集中研修（2回目）「社会・職場の仕組み」	1名
12月24日	新任集中研修（4回目）「自分のために」	1名
12月3日	事務担当者研修「働き方改革の理解と対応」	1名
1月30日	初任者事務研修「補正予算・次期予算」第三回	2名

④ 外部研修

11月14日	「給与大臣」年末調整セミナー	1名
1月14日	会計決算研修会 第一回	1名
1月15日	会計決算研修会 第二回	1名
2月7日	会計決算研修会 第三回	1名

（2）自立訓練（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

4月9日	新任集中研修（1回目）「法人を知ろう」	1名
4月10日	新任集中研修（2回目）「社会・職場の仕組み」	1名
4月17日	新任集中研修（3回目）「コミュニケーション」	1名
4月18日	新任集中研修（4回目）「自分のために」	1名
6月24日	初級中堅研修「自身の業務を振り返り、中堅職員としての果たすべき役割を考える」	1名
7月2日	着任2年目研修キャリアアップ研修	1名
7月11日	東京都育成会大会	3名
8月28日	初級中堅研修「グループディスカッション」	1名
11月30日	東京大集会	1名
2月18日	施設体験研修（すだちの里すぎなみ）	1名

⑤ 外部研修

7月20日	障害福祉情勢と現場に求められる支援	1名
7月20日	高次脳機能障害 注意と情動のコントロール	1名
7月23日	サービス管理責任者更新研修	1名
7月31日	サービス管理責任者更新研修	1名
9月28日	動機付け面接入門講座	2名
10月24日	区内施設交流研修（弥生福祉作業所）	1名
10月31日	アウトリーチ支援（都中部精神保健福祉センター）	1名
11月14日	処方薬乱用、依存を防ぐために臨床医にできること	4名

11月29日	高次脳機能障害の地域支援（都西部圏域）	3名
12月11日	残念な福祉用具選定（区西北部リハ支援）	1名
12月18日	中野区高次脳機能障害理解促進セミナー	1名
1月21日	障害のある方が地域で暮らせる支援体制	1名
2月6日	ココロとカラダの痛みのためのマインドフルネス	2名
2月11日	就労支援で活用できる制度・社会資源	1名
2月25日	お任せうんちっちの地域包括ケア的排便ケア	1名

⑥ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

4月12日	医療的ケア研修	2名
7月22日	感染性胃腸炎対策（事業合同）	25名
8月26日	行動変容について	7名
1月9日	福祉用具の選定	9名
2月27日	新型コロナウイルス感染症対策について（合同）	28名
2月28日	動機付け面接番外編	10名
3月27日	動機付け面接基本的スキルについて	10名

⑦ 見学

終了後サービス利用先		通所先・その他	
コロニーもみじやま	1名	デイサービスなごやか	1名
江古田の森	1名	ふくろうサポート	1名
ゆずりは	1名	障害者総合スポーツセンター	1名
久遠チョコレート	1名		

（3）生活介護（研修等実施・参加状況）

① 法人関係

4月9日	新任集中研修（1回目）「法人を知ろう」	1名
4月10日	新任集中研修（2回目）「社会・職場の仕組み」	1名
4月17日	新任集中研修（3回目）「コミュニケーション」	1名
4月18日	新任集中研修（4回目）「自分のために」	1名
6月7日	自閉症支援基礎講座	1名
7月26日	自閉症支援基礎講座	1名
6月17日	中級中堅研修	1名
6月24日	初級中堅研修	1名
7月10日	情報セキュリティー	2名
7月2日	着任2年目研修キャリアアップ研修	1名
7月11日	東京都育成会大会	1名

11月9日	第53回手をつなぐ育成会関東甲信越大会・埼玉大会	1名
11月30日	東京大集会	1名
12月9日	人事考課フォローアップ検証	1名
12月9日	新任集中研修（1回目）「法人を知ろう」	1名
12月17日	新任集中研修（2回目）「社会・職場の仕組み」	1名
12月20日	新任集中研修（3回目）「コミュニケーション」	1名
12月24日	新任集中研修（4回目）「自分のために」	1名
1月31日	第二回陽だまりの里きよせ 園内研究発表会	1名
2月25日	お任せうんちっちの地域包括ケア的排便ケア	1名

② 外部研修

7月3日	摂食・嚥下講習会 1日目	1名
7月4日	摂食・嚥下講習会 2日目	1名
7月5日	NPO&施設の為のビジネス基礎講座	1名
9月14日	発達障害とてんかん	1名
11月22日	施設系事業者連絡会施設間職員交流研修	1名
12月9日	高齢化への対応について	1名
1月29日	個別支援計画を再考するⅢ	1名
3月9日	感情とストレスをマネジメントする。	1名
2月6日	成年後見制度学習会	1名
2月15日	発達障害教育シンポジウム	1名
2月21日	障害者虐待「これって虐待？迷いを払拭するために」	1名

③ 施設内研修・学習会（研修フィードバック）

4月12日	医療的ケア研修	2名
7月22日	感染性胃腸炎対策（事業合同）	25名
9月1日	NPO&施設の為のビジネス基礎講座	10名
9月13日	自閉症支援基礎講座	10名
9月25日	重度・重症児（者）医療・療育（基礎）講習会	12名
9月27日	摂食・嚥下指導	9名
10月25日	発達障害とてんかん	15名
11月6日	情報セキュリティー研修	16名
12月16日	知的障害・自閉症の疑似体験ワークショップ	15名
2月7日	成年後見制度学習会	13名
2月10日	TEACCHについて	17名

2月12日	具体物を使ったコミュニケーション	14名
3月2日	障害者虐待	12名

14. 労務管理

(1) 職員健康管理

職員は年1回、健康診断を実施した。健康診断の結果は看護師が集約し、施設長が把握したうえで、医師からの所見のあった職員については、施設長が対象職員と確認を行った。

(2) 衛生推進体制

所属	安全衛生推進者
会館運営	事務主任

(3) ワーク・ライフ・バランスの推進

事業ごとに業務を見直し、時間外勤務を削減させた。時間外勤務に関しては、職員が計画的に実施する習慣を確立できるよう周知徹底した。

休憩時間についても効率よく業務につける時間帯を事業ごとに設定した。

(4) 次世代育成

職員が仕事と子育てを両立させることができる環境を作るために年次有給休暇取得状況の把握と業務の見直しを行った。

また、11月に近隣小学校の課外授業において、4年生3学級を対象に全3日間、施設紹介と活動体験を行った。初めての試みとなったが、次年度も引き続きの実施が決定した。

子ども参観日の実績なし。

(5) セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止

相談窓口の設置

所属	相談窓口
会館運営	事務主任
自立訓練（機能訓練）	自立訓練事業主任 他1名
生活介護	生活介護事業主任 他1名

(6) メンタルヘルス

法人事務局相談室に設置されている「職員悩み事相談室」と「無料相談窓口メンタルサポートネット」を紹介した。

また、研修に参加しやすい環境整備、研修啓発を行った。

法人のストレスチェック制度実施規定に基づき、ストレスチェックを12月に実施。

15. 指導・監査・調査等

(1) 福祉サービス第三者評価

今年度実施し、指定管理3期目の重点課題を整理した。

(2) 事業別満足度調査の実施

福祉サービス第三者評価受審年度の為、満足度調査は実施せず。評価の結果については家族会等で公表した。

16. 指定管理

(1) 第1期

平成21年4月1日から平成26年3月31日（5年間）

(2) 第2期

平成26年4月1日から平成31年3月31日（5年間）

(3) 第3期

平成31年4月1日から令和6年3月31日（5年間）